

## 「いっばいのステルス」

坂口 裕靖

ステルス値上げ、いいネーミングですよね。例えばチョコレートとか、今まで12粒入ってたのが、何かパッケージのデザインが変わり、買って蓋を開けてよく見ると、なぜか10粒になってる。もしかしたら、ひと粒あたりの体積が2割大きくなって、トータルとしての質量が同じという可能性があるのかもしれないと思うけど、まあそもそも以前の内容量表示が「12粒」だったのが「10粒」になったのなら、そりゃ中身減ってるでしょうね、普通に考えて。一方でパッケージとしての値段は据え置きで、だから一粒あたりで言えば2割増しになったというか、2粒分が新パッケージに消費されたというか。まさに2粒減った分、ステルス値上げされているわけです。このまま行くと次は8粒、6粒、4粒、2粒となり、ついにお値段据え置きゼロ粒という事象の地平線を突破して、怒涛のマ

イナス2粒へと遷移することになるだろう、的なネットの噂(©すきえんていあさん)。お値段据え置きはいいとして、一体なんの値段が据え置かれているのか、大いなる哲学的問題をはらむわけです。じゃあ内容量が商品名になってるなら、数は変わらないから大丈夫とか思うじゃないですか？もちろんそんなことはなくて、数は一緒なんですけどトータルの質量が徐々に減りつつあるわけです。いわゆるホーキング放射というやつですね。

まあステルス値上げは現状でもありとあらゆる商品で行われてるわけですが、今後は食料品の枠を超え、ありとあらゆる分野にまで広がっていくことが予想されます。例えば建築。ステルス値上げにより構造を支える柱が一本、また一本と省略されていき、なんかもうグラグラな建物になっていくんじゃないでしょうか。エレベータを支

えるケーブルも、ステルス値上げで細いワイヤが1本また一本と省略されていくわけです。そうじゃなくとも地震列島日本、いつの日か襲ってくる大きな地震により、様々な箇所でもステルス値上げが行われていたことが白日のもとにさらされる日が来るわけです。どうもトイレがよく詰まるといったら、下水管が途中で細くなったり途切れたり、ひどいところは下水管の代わりに巻いたアルミホイルでごまかされてたり。ガス管の中を堂々と電力線が通線、なんか壁と壁の間に隙間があって、よく見たらエリンギの栽培セットが仕込まれて、うちの水道管からこっそり水を供給してたりとか。まあでも保険があるから大丈夫とか思うでしょ？これがそうはいかないんだよね。保険の方にも当然の如くステルス値上げがなされており、なんと地震保険が震度8以上の地震じゃないと使えないとかで全

### One Point BUZZ WORD

## 十羽の鳥

つい先日までは、amazon music unlimited にて赤銅鈴之助が入っていたのです。もっとも、アレクサは「シャクドースズノスケ」と読んでいましたが、多分、入力のタイポなどにより「赤銅」が「赤銅」になっていたのでしょう。なのに、数日後試してみた所「楽曲が見つかりませんでした」との応答に変わってしまいました。もしかしたら赤銅鈴之助をリクエストした結果、QAチームに対する優先度が上がり、タイポが発見され、とりあえずの処置として配信を停止したのかも知れません。

他には、こんなのがあります。「アレクサ、月光仮面かけて」とリクエストすると、「アマゾンミュージックで、アルフレッド・ブレンデルアンドルードヴィッヒ・ヴァン・ベートーベンの、月

光仮面エリーゼのために、ベートーベンを、再生します」と応答し、エリーゼのためにがぼろぼろぼろぼろろん、と再生開始されます。アレクサの言い分を聞いている限り何がなんだかわかりません。ところが、ブラウザからamazon musicで検索してみると、その理由がわかります。

実はこのコンテンツ、「シネマ・クラシックス」という映画の主題歌・挿入歌を集めたアルバムに収録されており、なのでこの「月光仮面」とは、映画「月光仮面」の挿入歌である、という意味なのでした。実際、「昭和まんぶく堂」さんのブログによれば、1958年の映画「月光仮面」にて、レストランのBGMとして「エリーゼのために」が使われてるとのことでした。いや一経緯がわかってよかった良かった。というか、作品名をそう扱うところが問題なんだからね、アレクサさんよー。

そんなわけで、「アレクサ、デューク・エイセスのじゅっぽのからす、かけて」がおすすめ。「運の悪いヒポポタマス」というか、「鬼滅の刃」というか、的な名曲。ぜひ。

く役に立たない。仕方ないから自己資金でなんとか復旧しようとするんだけど、今度は銀行の方がステルス値上げをして、何度どうやってもATMで指定した金額を振り込むことができない。必ず端数が省略され、銀行にポッケナイナイされちゃうのを防げない。

もちろん資材屋も黙っちゃいない。蛍光灯がよく見たらペンキ塗ったモップの柄だったなんてのは序の口で、てっきり階段かと思ったら四角い枕で足をくじいたり、フローリングと思っただけがフローリング柄のトランポリンになってて家中の家具がボヨンボヨンしたり。水道は5%ほど下水が混じって、とてもじゃないが濾過して沸かさないと飲めないんだけど、フィルタの方がこれまたステルス値下げで大穴空いてちっとも濾過できないんだよな。都市ガスは温暖化対策とか言いながら二酸化炭素が混ぜられて、全然勢いよく燃えやしない。もちろん電力会社も抜け目なく能力を発揮しており、100Vどころか92Vちょいしか電圧がなく、あらゆる家電がどうにも調子悪い。かろうじてバッテリーで動かすパソコンはなんとかなるものの、よく見るとCPUコアが常にひとつ動いていなかったり。キーボードもステルス値上げでvとか数字の9とかがいつの間にか省略されており、どうも思ったとおりのメールが打てない。もちろんメールも本文中の肝心な所がいつの間にかどこかのサーバでまるっと捨てられたり化けたりして、ここぞというところで役に立たない。その代わりに、相手からの苦情も肝心なところが欠落してるから、何言ってるのか伝わらず、その意味では精神衛生すこぶるよろしい。もっとも、発注金額について正確に欠落するのはたいへん悩ましく、電話で訂正しようとしても何故か金額を言うたびにノイズが入る。高

いプランに変えれば直るのかもしれないが、どうせ別のノイズが入ってくるに違いない。例えば人名が聞き取れないとか、返事が伝わらないとか。

山手線とかステルス値上げで駒込とか代々木とかが時たま飛ばされて乗り降りできず、バスがバス停に止まってくれるなんて都市伝説でしかない状態。Tシャツもなんかステルス値上げされていて、首と左手は出るんだけど右手を出す穴がない。これじゃTシャツじゃなくてトシャツだ。他にも下シャツとか上シャツとか、そんなばっか。高くてもきちんと両手と頭、胴体が出入りできたあの頃が懐かしい。

正月の餅もなんか薄くなって、小倉百人一首は93首（しかも上の句96首、下の句97首でハズレが7枚もある）しかなく、万葉集もステルス値下げで万葉集になってくる。凧なんか凧糸がステルス値下げでぶっちぶち切れ、飛んでくこと飛んでくこと。羽つきの羽子板もいつの間にかベニヤやバルサになって、思い切り振り回すとべしべし折れて使い物にならない。それでも顔に塗る墨汁も取れないほどのシミはつかず、汚れを落としやすいのがせめてもの救い。まあ、ちゃんとした洗剤を使わないとだめだけど。

こんな社会、どう考えても嫌だと思いの、なぜ食料については平気でステルス値上げをするんでしょうね。どうせ人間食べなきゃ生きてけないでしょ、だからちょっとぐらいコストパフォーマンスが悪くても、追加で他のものを食べりゃなんとかなるじゃん。だから、ここで我々がちょっと手を抜いても、生活に支障はないよね？だって値上げしないんだし、大正義でしょ。とか思ってるんだろうか。まあそうなんだけどさ、だったらステルスじゃなくて堂々と値上げして欲しいよね。そうすれば「一杯の

かけそば」的に、たとえそこの店で量的には数倍のインスタントそばが買える状況であったとしても、その店に出向くという体験を手に入れるために、コストパフォーマンスの悪い選択をする、かもしれないじゃないですか。人間ってやつは、そうした非合理的な選択を平気でするような生き物ですよ。もっとも、かけそばがなくて高くて気軽に食べられないような生活をしている家族が、全員で何か諦めてまで、その思い出のかけそばを食いに行くかということ、そんなやつはいなさそうだけでも。まあちょっとづつお金を貯めて、というのはあるかもしれないけど、そこまで切迫した状況において、その金額で入手しうる他の選択肢と比べて断然かけそばを選ぶ理由はなさそうだよな。第一、お金貯めるって簡単に言うけどさ...貯められる余剰分のダイナミックレンジ考えてみ？せいぜい10円単位（じゃないと、かけそばが高価という仮説と矛盾する）で数十回の蓄積が必要なんですぞ。これはもう敵討ちに似た執念でもない、到底達成不可能なハードルじゃないかしら。そりゃ何年かかけてならともかく、毎年でしょう？しかもゴールがかけそばよ？ちょっと怖いよね。

長い歴史を経て、未だ販売されているお菓子とかって、こりゃもう時代の荒波に耐え抜いたクラシックですよ。事業拡大という意味において、OEMでジェネリックバージョンを展開する必然性はあるんでしょうけど、20世紀の遺産を今まさに取り扱ってる、という緊張感を常に抱いて頂きたいものです。消費者は値札だけで選んだ訳じゃないんだからさ。

Hiroyasu Sakaguchi  
株式会社 IMAGICA Lab.